



本社エントランス

○本社所在地：東京都港区虎ノ門

○事業概要：

- ・ AI 駆動開発 (AIDD)
- ・ AI トランスフォーメーション (AIX)
- ・ IT ソリューション (ITS)

○常時使用する従業員：333名
（2026年2月時点）

○現在の売上高：66.0億円
（2026年3月期）

○法人番号：2010001110043

○Web：https://www.e-business.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
花 東江

テクノロジーで企業変革を実装し、人々が幸せに生きる社会を創造する

当社は、これまで培ってきたITS事業の基盤に、AI駆動開発（AIDD）とAIトランスフォーメーション（AIX）によるAI事業の成長を重ね、2029年度に売上高100億円を達成します。100億円はゴールではなく、AIの力で企業や産業の変革を支え、社会の生産性と付加価値を高めていくための新たなステージです。その成長を支える最も大切な存在は社員であり、事業の成果を待遇や成長機会として還元し、一人ひとりが誇りと幸福を感じながら挑戦できる会社をつくりまします。お客様、社会、そして社員とともに成長し、AIによってより豊かな未来を創る企業へ。私たちは100億円のその先を見据えて挑戦を続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年度に売上高100億円を達成することを目標に、全社売上を年率10%程度で成長させます。これまで売上を支えてきた基盤系・DX系を中心とするITS事業については、既存顧客との関係や事業基盤を活かして安定的な収益確保を図ります。一方で、今後の成長領域としてAI系・AIDD製品を中心とするAI事業へのシフトを加速し、経営資源・人材・投資を段階的にAI領域へ移行します。ITS事業を安定収益の基盤としながら、AI事業を新たな成長エンジンとして拡大することで、「ITS事業中心の収益構造」から「AI事業中心の成長構造」への転換を目指します。

課題

- ・ 基盤系・DX系を中心とするITS事業の収益基盤の維持
- ・ AI事業（AI系、AIDD製品）の高成長の実現
- ・ ITS事業からAI事業への人材・投資・経営資源の段階的シフト
- ・ AI・業界専門人材の育成・確保
- ・ AI領域への先行投資と全社収益性の両立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ **ITS事業の収益基盤維持**：基盤系・DX系の既存顧客・技術・業務ノウハウを活かし、売上規模を維持しながら安定的な収益を確保する。
- ・ **AI事業へのシフト加速**：AI系・AIDD製品を重点成長領域と位置づけ、経営資源・人材・投資を段階的にAI事業へシフトする。
- ・ **AI事業の高成長**：業界・業務特化型AIサービスを拡充し、AIアプリケーションからAI基盤まで提供領域を拡大する。
- ・ **既存顧客基盤とのシナジー創出**：ITS事業で培った顧客基盤・業務知識・データ・技術力をAI事業へ展開し、既存顧客のAI需要を取り込む。
- ・ **AI人材・技術基盤への投資**：AI人材の育成・採用、研究開発、AI基盤への投資を強化し、中長期的な競争力を確立する。

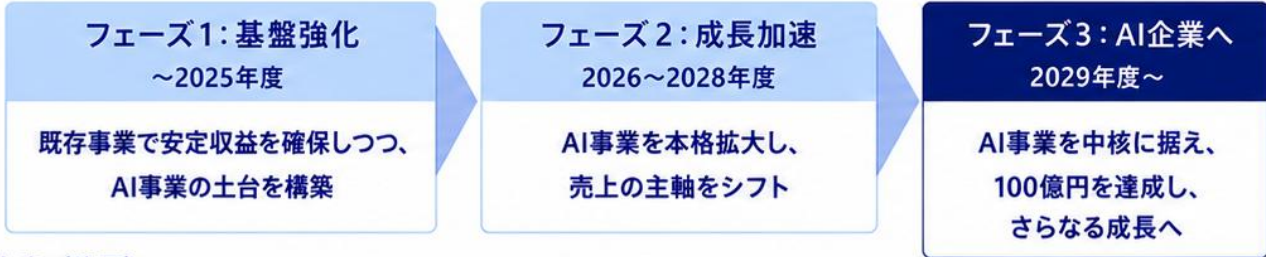
実施体制

経営陣を中心とした全社横断の推進体制を構築し、ITS事業の安定的な収益基盤を維持しながら、成長領域であるAI事業（AI系・AIDD製品）へ経営資源をシフトし、事業ポートフォリオの転換を推進します。事業部門・技術部門・営業部門・人事部門が連携し、ITS事業からAI事業への人材・投資・技術等の経営資源のシフトを計画的に進めます。また、ITS事業の収益性とAI事業の成長率を継続的にモニタリングし、全社売上の持続的な成長につながるよう機動的に経営資源を配分します。

100億円企業への成長戦略

100億円達成ロードマップ

AI企業への方向転換により、売上拡大と持続的な成長を実現



2029年度に
100億円達成!

AI企業として新たなステージへ

100億円達成を
通過点に、
成長を加速し、
さらなる高みへ



AIシフトのポイント

- 安定収益から成長領域へ
経営資源をシフト
AI事業（AI系+AIDD製品）比率
2024年度 3%
↓
2024年度 50%
(売上の半分をAI事業が占める)
- 事業ポートフォリオの転換
ITS事業の収益基盤を維持しつつ、
AI事業を主軸とした
成長構造へシフト
- 持続的な成長基盤の確立
AI技術を活用した
高付加価値ビジネスモデルへ

2029年度の**100億円達成**を通過点に、AI企業として持続的な成長を実現していきます